

# 国 労 水 戸

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 大和田亨  
編集責任者 坂本公則

## 最重要課題に全力を

### 出羽組織部長・中村君が参加

9月1日、2日、東京青梅において東京地本主催第20回組織拡大・労働条件改善の経験交流集会在開催されました。地方本部から

は、出羽組織部長と中村賢太郎君が出席しました。東京地方本部は、毎年拡大が大きく前進している地方本部で、どのような活動

とあっしやっています。今は、次に加わらせる組合員の為に奔走し、忙しすぎて家族との絆が微妙・・・と話しています。

今後、200名は拡大できると考えていること等、私たちが胸にいだいているモヤモヤを吹き飛ばすような話でした。「拡大を働きかける対象者がいないというのには、全員が国労に加入した時に初めて口にできる言葉である」とあっしやっています。まさにその通りだと思います。

多くの報告が出され、北鎌倉駅の福元さんの話は自信にみなぎっていました。しっかりとしたつながりを持つのは当然だが、加入に向け下地を作ることに、決断を促すこと、復帰加入のフォロー等が重要だ

水戸地本に於いても、労働条件改善、職場環境を良くしていくという労働組合の目的を再度明確にして、1人でも多くの仲間を作っていくことではありませんか。

組織強化・拡大に全力をあげて取り組もう！

### 第26回東日本本部定期大会方針書（組織拡大）

私たちは、仕事にこだわり職場の中心に座る努力をしてきました。また、他労組の仲間の声もつかむ中で、労働条件の改善に向けて取り組んできました。

昇進和解、そして一括和解以降、試験では主任試験合格者、助役試験合格者も出てき

ています。助役試験合格者交流会では、今後の不安はもとより、国労を増やさなければ技術継承や安全・安定輸送が出来なくなる等の声が出され、職責を全うし組織拡大にむけ奮闘していく決意が述べられていました。

それらの思いや職場での行動の積み重ねが信頼と共感を得、100名以上の拡大につながっています。そこに自信と確信を持つとともに、有利な情勢を最大限活用し国労加入を呼び掛けることがさらなる拡大には不可欠です。

更に拡大を大きな流れにするためには、情勢の認識を一致させ、全組合員が組織拡大に踏み出すことが必要です。

### 2012年度執行委員会の成立で指令1号発する

さて、国労東日本本部は、第26回定期大会を9月7日、8日に盛岡市・つなぎ温泉「ホテル紫苑」で開催しました。

## 第64回定期地方本部大会

開催日時 2012年10月12日～13日  
(13時30分受付、14時開会)

開催場所 北茨城市・五浦観光ホテル(大観荘)

- 大会延期承認
- 経過報告及び協定締結承認
- 2012年度運動方針(案)
- 2011年度決算
- 2012年度予算(案)
- スト権確立
- 地方委員の選出
- その他

大会では、現場組合員の目線に立った運動に基軸を置き、組織拡大に全力をあげる。健全かつ正常な労使関係の確立を旨とし、明るく働きがいのある職場を構築する。人事・賃金制度の見直しをはじめとした制度改正に対する取り組みの強化とエルダー社員制度・嘱託社員制度の改善を勝ち取り、安全で安心して働き続けられる職場を求め取り組みを展開する。車両検修関係外注化施策の地方交渉に全力をあげると共に、会社の効率化・コストダウン優先の施策が、事故・トラブルを誘発していることから、施策の検証と「安全総点検運動」を引き続き強化し、「安全・安定輸送確保」の取り組みに全力をあげる。反原発・脱原発を基本に、自然再生エネルギーへの転換によるエネルギー政策の早期見直し推進、憲法改悪反対、反戦・平和、民主主義擁護の闘いに全力をあげる等、向こう1年間闘争方針を確立しました。

